

こんにちは 2017年7月6日 第143号

ちかざわ美樹です

日本共産党 市議会議員活動報告



chikamiki222@gmail.com
☎&fax 042-582-1870
☆自宅:日野市万願寺 6-35-9
カサベルデ 201
☆ちかざわ事務所(三沢中学校
のそば)日野市三沢 1-13-5

いつでも、どんなことでもお電話下さい ちかざわ携帯 ☎090-9313-1192

都議選 日本共産党都議団17から19議席へ前進

中野あきと候補は健闘するも、議席得られず

7月2日投開票(投票率49.60%、前回投票率42.75%)で東京都議会議員選挙が行われました。

日野選挙区の定数は2人、日本共産党の中野あきと候補は15595票(得票率21.1%)を獲得したものの、自民党の古賀候補に863票及ばず3位となり、議席を得ることができませんでした。みなさんのご支援・ご協力に感謝申し上げますとともにご期待に添えなかったことに心からお詫び申し上げます。当選は1位菅原直志氏(都民ファースト)、2位古賀俊昭氏(自民党)です。

都議選でも「野党と市民の共同」広がる

今回、「勝手連」や「サポーターズ」、「市民応援団」といった幅広い市民のみなさんや、自由党の渡辺浩一郎都連会長、無所属の有賀精一市議などの応援を得て中野あきと候補は選挙戦をたたかうことができました。

この共同が前回都議選の日本共産党の得票を1.3倍加させ、自民党現職に迫る力となりました。

多摩の党都議がこれまでの2人から5人へ!

東京全体ではこれまでの17議席から19

議席へと前進し、得票では比較可能な選挙区で、前回より19万票増やし、得票率も、1.17ポイント増えました。

また、八王子市、町田市、北多摩1区(東村山・東大和・武蔵村山市)、北多摩3区(調布・狛江市)、北多摩4区(清瀬・東久留米市)の日本共産党の候補者が当選し、多摩地域の日本共産党の都議会議員はこれまでの2人から5人に増え、多摩地域の声が届きやすくなりました。

日本共産党が「支持」をした北多摩1区(国分寺・国立市)の生活者ネットの候補も議席を得ることができました。

掲げた公約実現のためにさらに運動を

このたびの選挙では、「安倍政権の暴走を止める、憲法9条を守る、築地市場の移転は中止にして築地で再整備を、大型道路開発優先からくらし優先の税金の使い方へ、ミニバスを増やして、シルバーパスを使いやすく、モノレールにも適用を、認可保育園を増やす」など、中野あきと候補の掲げた公約には強い賛同の声が寄せられました。

今後は前進した党都議団と協力しながら公約実現のためにみなさんと力を合わせて運動をすすめていきます。

ごみ広域化計画強行は許されません。白紙にして住民と一からの見直しを!

【日本共産党の無料法律相談】 第1.2.3木曜日予約制です
第1.3木曜日 18:00~20:00 第2木曜日 13:00~15:00



史上初めて核兵器を法的に禁止する「条約」採択へ

ニューヨークの国連本部で「核兵器全面廃絶につながる、核兵器を禁止する法的拘束力のある協定について交渉する国連会議」(第二会期)がひらかれており、エレン・ホワイト議長が5月に発表した核兵器禁止条約の草案をもとに、各国政府の代表が、日本の被爆者をはじめ市民社会の代表もまじえ、活発な討議を続けてきました。第二会期末の7日には条約の採択が見込まれています。

7月3日に提示された条約の最終草案は、核兵器の「使用の威嚇」とともに、核兵器の開発や生産、製造と並んで、「実験」も禁止すると明記しました。

禁止範囲は、キューバをはじめとする各国がコンピューター上でのシミュレーション実験や未臨界実験を含めて禁止すべきだと指摘し、全般的な実験禁止に踏み切りました。



国連会議には日本共産党志位和夫委員長が、3月の第一会期に続き「核軍縮・不拡散議員連盟」の一員として出席します。

会議には121ヶ国が参加、日本政府は条約制定交渉に参加していません。

また、4日午前、北朝鮮が弾道ミサイルを発射した事について、志位和夫委員長は北朝鮮の度重なるミサイル発射に厳しく抗議し、「現在核兵器禁止条約の国連会議がひらかれており、北朝鮮の核兵器増強路線は、世界のこの流れに真っ向から背くものにほかならない」と批判しました。

国民平和大行進 7月21日(金)

集会 6:00PM 行進開始 6:30
多摩平第一公園～日野駅へ

8月7～9日、長崎で行われる原水爆禁止世界大会へは、党市議団を代表してちかざわが参加します。1歩でも2歩でもごいっしょに行進しましょう。

日本共産党発行
しんぶん赤旗
日刊●月 3497円
日曜版●月 823円

東京
民報

東京民報は東京がよくわかる週刊新聞、月額400円です。いま大注目の東京都政。他紙には決して掲載されない独自取材のニュースが満載の東京民報。見本紙をご希望の方はすぐお届けします、ご遠慮なくご連絡下さい。

いのちがいらばん

都議選が終わりました。まだ悔しさばかりですが・・・選挙中電話でこんな対話をしました。「応援しますよ。消去法で、もう共産党しか残ってないんだもの。『共産主義』はイヤだけど、全然ぶれないんだもの」。また、選挙が終わって道で会った方とこんな話をしました。「応援したよ。もう(共産党の)名前を変えるしかないよ。何十年も全くぶれないでやってるんだから名前を変えても大丈夫」。どちらの方にも日本共産党がどんな社会を作ろうとしているのか、なぜ名前を変えないのか、わかって頂ける様に改めてお話をしたいと思いました。「日本共産党」の名前にこめられた思いが95年間変わっていないことを。



ちかざわ美樹